

「那覇市生成A I 活用方針」の策定について

本市では、DX推進計画に掲げた基本理念「デジタルで変わり続けるまち・那覇」に基づき、行政のDXに取り組んでおります。その中で近年、急速に普及・発展する生成A I について、業務への活用を検証した結果、84%の職員が「生成A I の利用により業務時間が短縮された」と回答するなど、文章作成や企画立案、アイデア出しなどの幅広い用途で、その有用性が確認できたことから、この度、生成A I の本格導入に向け、「那覇市生成A I 活用方針」を策定しました。

本方針では、「生成A I の利用範囲」や「安全な利用と適切な取扱いの徹底」などの基本的な事項を定めており、技術進展や社会情勢などの動向を捉えつつ、さらなる活用に向けた方策について臨機に見直しを図ることとしています。

本方針に基づき、生成A I を積極的に活用することで、市役所の業務効率化を図り、それにより生み出された時間を更なる行政サービスの向上に繋げてまいります。

1 経緯

令和5年5月	市長記者会見において、庁内検討チームの立ち上げに言及
同年6月	デジタル化推進会議（生成A I 業務適用検証部会）の設置
同年8～9月	16部局・40課・65名の職員が生成A I の検証利用を実施
同年10月	生成A I 検証利用結果取りまとめ
同年11月	生成A I 検証総括及び活用方針の策定
同年12月	生成A I サービス導入、運用開始

2 生成A I 検証結果概要

各課に配置するデジタル化推進員を主な対象職員として、生成A I の検証利用を実施しました。

検証期間	令和5年8月1日（火）～9月30日（土）2か月間
検証参画職員	16部局・40課・65名
利用回数	約1,800回
検証環境	総合行政ネットワーク（LGWAN）上で動作し、入力情報が学習データに利用されない利用形態のサービス

検証利用では、文章の作成・要約・校正、アイデア出し、コード生成等の業務で幅広く利用され、全体的に生成A I の業務利用に前向きな傾向で、業務効率化及び生産性向上に寄与する有用性が認められる結果となりました。

- ▶ 全ての職員が「生成A Iの利用により仕事の効率が向上・大幅に向上する」と評価
- ▶ 84%の職員が「生成A Iの利用により業務時間が短縮された」と回答
- ▶ 25%の職員が「1日あたり平均で1時間以上の業務時間短縮された」と回答
- ▶ 89%の職員が「生成A Iを今後も利用していきたい」と回答

主な意見では、「たたき台を参考にすることで作業時間が短縮された」「時間短縮のほか、精神的な負担も軽減された」「1から作成するより便利」といったポジティブな意見が多かった。一方で、「ファクトチェックが重要」「質問（プロンプト）の技術向上が必要と感じた」といった課題や改善面に関する意見も複数ありました。

3 那覇市生成A I活用方針

別紙「那覇市生成A I活用方針」のとおり

4 那覇市生成A I活用ガイドライン

別紙「那覇市生成A I活用ガイドライン」のとおり

5 今後の展開

12月から、全庁的な共通基盤である生成A Iサービスを導入し、業務の効率化並びに行政サービスの向上を推進してまいります。

また、生成A Iを巡る状況を捉えた情報発信や情報集約体制、好事例の横展開により、全庁的に有効活用されるよう支援していきます。

なお、本資料は、生成A Iによって下書きを作成し、職員が校正をおこないました。